

## コロニーヘーブ



デンマーク・ヘルシンガー市在住

小野寺 綾子

コロニーヘーブ(kolonihave)は  
 普段アパートに住んでいる人が、  
 土地付きの小さい家を所有し、休  
 日をそこで過ごすものです。コロ  
 ニーヘーブは日本語で家庭菜園と  
 訳されていますが、庭で野菜を作  
 るだけではなく、花を楽しむ人、  
 芝生だけの人もいます。週末だけ  
 来る人、数ヶ月間住居の替わりに  
 住む人など所有している人の趣味  
 と生活スタイルの違いで楽しみ方  
 が違います。家は高さ、広さの基  
 準がありますが、色や形が非常に  
 個性的な建物が多いです。

ヘルシンガーに4つほど大きな  
 コロニーヘーブがあります。その  
 内の一つ、1964年に始まった2  
 番目に古いコロニーヘーブにエミ  
 リエ・ブルンさん(73歳)のコロ  
 ニーヘーブがあります。高台にあ  
 るエミリエさんのコロニーヘーブ  
 からあたりを見渡すと、よく刈ら  
 れた垣根、こぢんまりした家々の  
 庭に細長い種類のデンマークの国  
 旗がそよぎ、平和でのどかで典型  
 的なデンマークのコロニーヘーブ  
 の風景が眼下に広がります。この  
 コロニーヘーブには140軒の家が  
 あります。

エミリエさんは毎年5月から10  
 月1日までコロニーヘーブで生活  
 しています。法律で、年間に住め  
 ません。訪問した日は、前日(5  
 月28日)にアパートから移ってき  
 たばかりでした。家は赤茶色のペ  
 ンキで塗られた木造の建物で、38

年前2000クローナ(約5万円)  
 で買いました。土地の広さは約  
 320平方メートル、家の大きさは40平方  
 メートルで、それ以上大きな家を建てら  
 れません。土地は市から借りる契  
 約で3カ月に一回1520クローナ  
 (約3万3千円)を払います。家  
 は個人の所有です。エミリエさん  
 は年金者なので格安ですが、65歳  
 以下ですと倍になります。

家の間取りは台所、居間、トイレです。台所は黄色に統一され、流し、ガスレンジ、小型冷蔵庫、ダイニングテーブルの上には電話が置かれています。居間には椅子、ソファと折りたたみのベッドがあり、部屋に置かれた調度品や椅子をみると、コロニーヘーブを買った1970年時代をほうふつさせるインテリアです。電気代が高いので10年前から、屋根にソーラーシステムを取り付けています。寒い時は居間にあるガスストーブで部屋を暖めています。水道は11月から4月まで凍結予防のため閉じます。冬季間無人ですと、空き巣に入られたりや悪戯されることがありますので、もちろん保険に加入しています。

エミリエさんは7年前にご主人を亡くし、一人暮らしですが、庭の手入れは自分でします。庭はよく手入れがされていて、ジャガイモ、いちごが栽培され、石楠花や牡丹の花が満開でした。趣味はもちろん園芸、編み物やポピンレー



コロニーヘーブの眺め



エミリエさんの家と前庭

スでボランティアで週3回コペンハーゲンにある子供劇場の仕事をしています。デンマーク人は家に奥さんの名前やなにか意味のある名前を付けます。エミリエさんの家の名前は「Frivagt」です。その意味は夫婦でタクシー会社を営んでいたもので、互いに仕事が終わる度に「当直から開放される」と口癖のように言っていたからです。

コロニーヘーブの歴史は古く、1890年代にユトランドのオルボーヤコペンハーゲンでコロニーヘーブの組織ができました。デンマークのコロニーヘーブは全国組織になっており、3カ月に一回自治体に払う経費はさらに全国組織に行きます。その全国組織のホームページでコロニーヘーブの売買ができます。今、コロニーヘーブは再び人気が出てきているので、買い手が多いです。エミリエさんのコロニーヘーブでは3年ほど待たなければなりません。もし、エミリエさんがコロニーヘーブを売るときは、ヘルシンガー市内の4つのコロニーヘーブの代表者が家の価値を見積もるという仕組みになっています。